

先生も子供に負けず猛勉強

昭和51年度研修事業計画

県内小・中・高等学校の先生方の資質の向上と指導力の充実をめざして、本年度も二千四百人ほどの先生方が教育センターに泊まり込みで勉強されることになっている。即ち、「学校経営」「教育研究法」、「各教科」、「特別活動」、「教育相談」、「教育学」(視聴覚教育)、「情報処理」(コンピュータ)等に関する別表に示すような五十の講座で、専門的内容について勉強されるというものである。

勉強は、講義あり、協議あり、演習実習、観察、実験ありというように、講座によって各種各様の方法を取り入れて腕が磨かれるようになっていく。指導にあたられる講師陣は、県内外の一流の学者や、その道の専門の先生方をはじめ、一般社会の学識経験者、教育庁内の先生方、現場の実践者、教育センター所員等と、多彩な顔ぶれが用意されている。

福島県の教育センターが特色の一つとして、研修される先生方の全員宿泊というのがある。これは全国でもあまり例を見ない方法である。宿泊をとおして人間的な研修をも積んでいただくというのがねらいで、研修に参加された先生方からは、たいへん好評のようである。

講座の概要は下の表のとおりである。

小・中・高校共通

講座名	主 内 容	対 象	年間人
学校経営(A)	・教育目標の設定とその具現化 ・学校評価 ・学校経営と教育法規 ・学習理論と評価管理 ・現代教育の課題 ・教師の専門性 ・学校経営上の諸問題 ・各々の主題研究	小・中・高 教 頭	小15 中10 高 5
学校経営(B)	・教育目標の設定と具現化 ・研修組織 ・各々の主題研究 ・教育組織論 ・学年、学級経営 ・教科経営	小中堅教 中員	小17 中13
教育研究法	・教育研究法 ・教育調査法 ・教育統計法 ・授業研究 ・学習理論と教育法 ・各々の主題研究	小中堅教 中員	小14 中18

小 学 校

講座名	主 内 容	対 象	年間人
教育学	・教育方法の改善と教育学 ・OHP、VTR、シート式磁気録音機の活用と教材製作 ・授業のシステム化 ・教育機器活用上の諸問題	一 般	90
国 語	・物語教材の分析と指導案のたて方 ・読むこと、書くことの指導原理 ・語句指導のあり方 ・作詩指導の実際	担当 一般	80
社 会	・教材研究のすすめ方 ・野外調査 ・国際社会における日本の地位 ・学習理論 ・教材分析 ・学習指導案の作成 ・教具(TP)の作成	担当 一般	80
算 数	・ピアジェと算数教育 ・算数指導における教育機器の効果的利用 ・授業における児童心理 ・教材研究のすすめ方	担当 一般	80
音 楽	・低学年における音楽指導のあり方 ・リード楽器、たて笛の奏法 ・発声と歌唱法 ・基礎力をつける指導 ・編曲法 ・教育機器の活用 ・授業における楽器の奏法(リード、打楽器、たて笛)	低学年担当 一 般	25 50
図画工作	・図画工作の問題点と指導 ・彫塑(実技) ・木材による工作(実技)	担当 一般	75
体 育	・学習指導法の改善・評価の方法とその活用 ・授業分析の理論と方法 ・教育機器の活用 ・指導上の諸問題 ・保健の実験、実習	担当 一般	60
特別活動	・特別活動の現状と諸問題 ・特別活動の意義 ・学級指導、児童活動、学校行事についての問題提起と討議 ・特別活動の指導	担当 一般	30
理科移動	・基本的な実験観察とその指導法	担当 一般	216
理 科	・理科指導法と実験内容の検討 ・新しい実験法のくふう ・野外研修 ・理科指導上の問題点の検討	女子 男子 担当一般	40 40
理科教材製作	・実験教具の製作実習 ・実験機器の取り扱い方	担当 一般	40
家 庭	・食品に関する実験 ・家庭科指導について ・食品に関する実験 ・せんいの鑑別 ・洗浄力テスト ・住まいの条件	担当 一般	36
教育相談	・教育相談の諸問題 ・描画テスト ・児童期の精神障害 ・教育相談のすすめ方 ・性格検査 ・知能検査	一 般	30